平塚市 支給決定基準

平塚市 福祉部 障がい福祉課

平成 18 年 10 月 1 日

(令和6年4月1日 改定)

1 支給決定基準について

(1) 支給決定基準の目的

支給決定基準(以下「基準」とします。)は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」とします。)及び児童福祉法における介護給付費等の支給決定を公平かつ適正に行うために設定します。

なお、支給決定基準中、特段の定めが無い場合は、各法律、規則、省令、事務処理要領等に準ずる取扱いとします。

(2) 支給決定について

サービスを支給決定するにあたっては、実際にサービスの利用見込みがある場合を原則とします。基準の支給量は、一律に支給するのではなく、障害支援区分又は障害の種類及び程度、当該障害者等の介護を行う者の状況、当該障害者又は障害児の保護者の介護給付費等の受給の状況、サービス等利用計画案その他の厚生労働省令で定める事項を勘案して、支給の要否を決定します。

なお、15歳以上18歳未満で障がい者を対象とするサービスの支給決定する場合は、児童福祉法第63条の2及び第63条の3の規定により障がい者とみなされている必要があります。

(3) 支給量について

標準支給量を設定します。支給量は月ごとの管理となり、本人に必要な支給量の計算方法は、1週間の必要数に5週を乗じて計算します。本人に必要な支援が標準支給量を超えて必要である場合、勘案事項により支給できます。

勘案事項は次のとおりです。

ア 障害者等の障害支援区分又は障害の種類及び程度その他の心身の状況

イ 障害者等の介護を行う者の状況

ウ 障害者等に関する介護給付費等の受給の状況

エ 申請に係る障害児が現に障害児通所支援又は指定入所支援を利用している場合には、その利用状況

オ 申請に係る障害者が現に介護保険法の規定による保険給付に係る居宅サービスを利用している場合には、その利用状況

カ 当該障害者等に関する保健医療サービス又は福祉サービス等の利用の状況

キ 当該障害者等又は障害児の保護者の障害福祉サービスの利用に関する意向の具体的内容

ク 当該障害者等の置かれている環境

ケ 当該申請に係る障害福祉サービスの提供体制の整備の状況

2 介護給付費の支給決定基準

(1)居宅介護

ア 身体介護(18歳以上)

障害支援区分 1	標準支給量	なし
障害支援区分 2	標準支給量	5 時間/月
障害支援区分 3	標準支給量	10 時間/月
障害支援区分 4	標準支給量	15 時間/月
障害支援区分 5	標準支給量	31 時間/月
障害支援区分 6	標準支給量	31 時間/月

イ 身体介護(18歳未満)

標準支給量 15 時間/月

ウ 家事援助(18歳以上)

障害支援区分 1	標準支給量	15 時間/月
障害支援区分 2	標準支給量	20 時間/月
障害支援区分 3	標準支給量	25 時間/月
障害支援区分 4	標準支給量	31 時間/月
障害支援区分 5	標準支給量	31 時間/月
障害支援区分 6	標準支給量	31 時間/月

エ 家事援助(18歳未満)

標準支給量 なし

オ 通院等介助

医師が必要と認める定期的な通院や、その他の行政手続き等にかかる時間を計算し、障害支援区分に関係なく必要時間とします。

※留意事項

介護保険の被保険者(受給者)の支給は、ご相談ください。

(2)重度訪問介護

障害支援区分 4	標準支給量	150 時間/月
障害支援区分 5	標準支給量	180 時間/月
障害支援区分 6	標準支給量	210 時間/月

※留意事項

介護保険の被保険者(受給者)の支給は、ご相談ください。

(3)同行援護

標準支給量 30 時間/月

(4)行動援護

標準支給量 25 時間/月

(5)療養介護

標準支給量 当該月の日数/月

(6)生活介護

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から8を控除した日数/月)

(7)短期入所

標準支給量 4日/月

ただし、重症心身障害者、医療的なケアを必要とする遷延性意識障害者、医師によりそれらに準ずると認められた者については標準支給量を7日/月とします。

(8)重度障害者等包括支援

標準支給量 50,000単位/月

(9)施設入所支援

標準支給量 当該月の日数/月

3 訓練等給付費の支給決定基準

(1)自立訓練（機能訓練）

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から 8 を控除した日数/月)

(2)自立訓練（生活訓練）

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から 8 を控除した日数/月)

(3)宿泊型自立訓練

標準支給量 当該月の日数/月

(4)就労移行支援

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から 8 を控除した日数/月)

(5)就労継続支援 A 型

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から 8 を控除した日数/月)

(6)就労継続支援 B 型

標準支給量 原則の日数/月(当該月の日数から 8 を控除した日数/月)

(7)就労定着支援

標準支給量 当該月の日数/月

(8)自立生活援助

標準支給量 当該月の日数/月

(9)共同生活援助

標準支給量 当該月の日数/月

ただし、体験利用の場合は連続 30 日以内かつ年間 50 日以内とします。

4 地域相談支援の支給決定基準

(1)地域移行支援

標準支給量 当該月の日数/月

(2)地域定着支援

標準支給量 当該月の日数/月

5 平塚市地域生活支援事業の支給決定基準

(1)移動支援

標準支給量 10 時間/月

(2)日中一時支援

ア 通常利用

標準支給量 5 回/月

イ 延長利用(日中活動系サービスを利用した後の利用)

標準支給量 23 回/月

(3)地域活動支援センター A 型(Ⅲ型)

標準支給量 23 日/月

事情があり開所時間を超えて利用が必要な場合、延長利用を行います。

(4)地域活動支援センター B 型(Ⅰ型)

標準支給量 23 日/月

(5)訪問入浴

標準支給量 5 回/月

(6)障がい児タイムケア

標準支給量 10 回/月